

女坂峠～三方分山～精進山～根子峠 周回（個人山行）

（報告）FT

◎山行期日：2024年5月12日（日）

◎メンバー：SM、FT



富士山の前に小さな山（大室山）があります。お母さん富士が子供を抱っこしているかのように見えることから「子抱き富士」と呼ばれています。
（朝、駐車場に到着したとき撮影）

「良い山を見付けた！」誘われて行った山であるが、翌日、振り返ってそう思った。山が気に入って何度も登る山はいくつもあるが、この山は登山と言うより、「古の街道をゆっくり偲んで歩いてみたい」という思いもある。

知らなかったが途中の女坂峠までは、古の街道「中道往還」を歩く事になる。登山道への入り口に「旧中道往還」とあった。案内板を読むと、何と甲斐と駿河を結ぶ古の街道だ。戦国時代の武将達もこの道を通ったのか？と一瞬頭をよぎった。思案を巡らす間もなく、精進諏訪神社に到着。地図に「精進の大杉」とあったので、境内に入っていった。樹齢 1,200 年、目どおりの周囲約 10m、見上げて上部は見えないが、高さは約 40m もあるとのこと。国の天然記念物に指定されている。大木や巨木は、見ているとなんだか安らぎを覚えるのが不思議だ。この付近の集落は廃屋もあるが、味わい深いものがある。



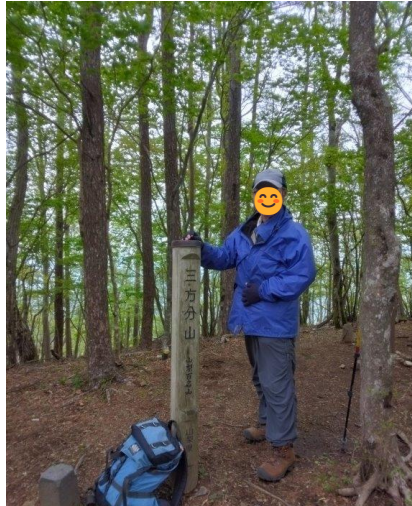
樹齢 1,200 年の「精進の大杉」です。

道は舗装道路から土の道になり、すぐにやっと一人が歩ける普通の登山道になった。新緑を愛でながらゆっくり登って行くと「女坂峠」（「阿難坂」/約 1,200m）に到着した。昔は難所であったに違いない。峠に説明板とお地蔵さんがあった。古くからの峠だけに、悲話もあるようだ。中道往還はこの峠を越えていくが、我々は西へ、・・・・三方分山を目指す。あと 1,500m。

新緑を愛でながら急登を登って行くと、45 分で三方分山(1,422m)に到着した。新緑に囲まれ眺望はなかったが、広くゆったりした山頂であった。先着組の皆さんは楽しそうに昼食中であったが、我々は長居はせず、写真を撮ってすぐに出発した。10 分で三角点と小さな祠がある精進山(1,408m)に到着。平坦なスペースもあったのでここで昼食。



女坂峠（阿難坂峠）です。古道の峠ですので、悲話もあるようです。写っていませんが、お地蔵さんと説明板もありました。



三方分山山頂



精進山の山頂に、小さな祠がありました。

次の精進峠には随分と下る。ドンドン下ってようやく峠に到着。標柱には 1255m と手書きされていた。ここからも精進湖に下れるが、小休止して次は根子峠を目指す。歩を進めていくが何だか空模様があやしくなってきた。雲が段々と黒くなってきて、風もいくぶんか冷たくなってきた。雨の気配？ 計画では根子峠よりパノラマ台をピストンしてから精進湖に下ることにしていたが、・・・・。到着した根子峠で相談。パノラマ台までは登り 15 分と近いが、やはりパノラマ台はカットして、このまま精進湖に下ることに決定。この下りの途中に、樹が切られて開けたところがあった。富士山の絶好の展望台だ。しかし残念ながら雲が出て、すっきりしなかった。天気が良ければ、のんびりと富士を眺めながらお茶にしたいところだが、少し休んだだけで腰を上げた。



パノラマ台まで、登り 15 分、下り 10 分でしたが、空模様があやしくなりましたのでこれより下りました。

結果、雨には降られず、無事、駐車場に帰りついた。この県営の無料駐車場は、良いところに設けられている。今回、事前に地図を見て、この駐車場を利用すれば周回縦走が可能、と計画したのだが、まさにその通りであった。

駐車場付近は富士山が前の山（大室山）を抱いているかのように見える「子抱き富士」の好展望所でもある。また登山口の標高が910mと高いので、三方分山との標高差は、510m程と比較的少ない。その上、岩場などの難所がない。古の街道歩き、樹齢1,200年の大杉、等々と併せて、高齢者にもお勧めの良い山と思う。

<コースタイム>

パノラマ台下県営P 9:00～精進バス停（旧中道往還）9:10～精進諏訪神社 9:15～25～女坂峠 10:20～三方分山 11:05～10～精進山 11:20～50(昼食)～精進峠 12:20～25～南アルプス展望台 12:55～根子峠 13:10～15～パノラマ台入口 13:55～パノラマ台下県営P 14:00



湖畔にありました「子抱き富士」のビューポイントです。